

社会福祉法人 立正たちばな会
リボン保育園
施設関係者評価・自己評価

リボン保育園

〔記入方法〕
A、B、C、Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください。
項目ごとに、意見・改善策を記述してください。

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

項 目

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価		2025年度(令和7年度) 自己評価				意見・改善策
項目	内 容	評 価				
		A	B	C	D	
保育目標・保育方針	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			・食育目標について全職員で検討できていないため、栄養士以外の職員の意見も今後聞きたい。 ・日常業務に追われ、スローガンが自分の中で置き去りになっている。反省をしっかりと考え、次年度に繋げていけるように努めないといけない。 ・主担任だけでなく、中堅、若手、パート職員への浸透が課題。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育計画	(1) 指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				・援助や支援については個人的にまだまだ勉強していかなければいけないと感じている。 ・素材の形状や大きさを考えながら、製作活動や遊びに取り組んでいきたい。 ・子ども達にどんな風に成長して欲しいか。その為には何が必要か、どんなことをしたら身に付くか等考え計画し行えている。
	(2) 保育園保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や、過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は、現行でよいか。		○			・水分補給が組み込まれるようになり、現行のままで良い。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			・行事数は適切で、担当がきちんと記録し見直せるようになっており、PDCAサイクルがきちんとされている。 ・行事には積極的に参加される方が増えているが、リボンの日については、参加に身構える保護者が多くなってきているように感じる。もっと気軽に参加できるような声かけの工夫をしていきたい。 ・運動会に関しては、もう少し事前からの遊び込み
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目		内 容				
経営組織	分掌体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		・主担任が抱え込み維持している。次のリーダーを作っていく土壌作りが喫緊の課題。 ・係に関しては、様々な部署があり部署連携を意識しもっと分担出来ていけば良い。 ・チャットワークの活用により、事務局会議の情報を職員全員で共有出来ている。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は、適材・適所か。		○		
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○		・リーダー会の回数を、次年度では増やしていきたい。 ・行事の打ち合わせを日中に行うことにより、パート職員も行事へ積極的に参加して下さっている。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。		○		・朝や夕の合同保育で異年齢の関わりも大切にできている。ただ、川西保育園との異年齢交流が少なく感じる。園庭やあけみの森、行事などで関わりが持てるようにしていきたい。 ・子ども達全体の発達が緩やかになっており、目標が遠く感じられることがある。しかし、目標を見直し低く設定しても改善策にはならない。目標を目指しながら土台をしっかりと育めるよう努力していきたい。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。		○		
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは、適切に設定しているか。		○		
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。		○		
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○		
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。		○		
	保健安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○		・消毒作業のより適切な方法への改善など随時見直していく。 ・各委員会活動のおかげで、適切に対応し改善出来ている。 ・避難訓練は保育者の訓練である。開始時間を毎回同じ時刻ではなく変えていっても良いのではないか。次のステップに進む為に臨機応変な対応ができるかどうか視野に入れて行っていきたい。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて、適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○		
研究研修	園内研究研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		・パート職員という立場ではあるが、参加可能な研修には積極的に参加したい。 ・年に一回でも園外研修に参加していきたい。 ・研修、講習は充実している。 ・チャットワークでの報告は、いつ、だれが、どのような研修に参加されたのかが一目でわかり、内容も時間のある時にじっくりと見ることができるので良い。
		(2) 園内研修の計画・運営は適切か。		○		
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		○		
		(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○		
	園外研究研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○			

項目	内 容					
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を選正に取り扱っているか。	○				・名簿などきちんとシュレツダーでの処理することが出来ている。 ・在宅ワーク時において家族の目に書類が触れないように配慮している
	(2)公文書収受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3)各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・園庭で遊ぶ際には鍵をかけるなど適切な不審者対策の対応が増えてきている。お寺という開かれた施設もある中で更に対応できる事があるか深めていきたい。 ・新しい玩具を取り入れる際には、収納場所についても検討しておかなければならない。
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3)不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4)掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納	(1)各種会計を選正かつ適切に処理しているか。		○			・事務方が法人事務、保育事務に分かれ日々業務を遂行している。
開かれた保育園づくり	施設間交流連携	(1)他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○			・事務局会議子どもの様子にて、他施設など利用幼児、児童への配慮などが共有出来ている。 ・リスクリシグ制度の活用で、他施設から保育に携わっていただくことにより、発達や特性についての相談や共有が速やかに出来ている。 ・学童の子ども達と保育士体験などで一緒に過ごす場があるのが良い。リボン園児、川西園児ももっと関わりの場があっても楽しいのではと感じる。
		(2)他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	○			
		(3)指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○		
		(4)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○		
	家庭との連携地域社会	(1)参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○			・現実的には難しい側面もあると思うが、リボンの日を通しての保護者連携は凄く良い時間なので、川西保育園でも取り組んでみてはどうか。 ・森本屋料理教室に加えて、カルチャーセンターでの料理教室も開催できた。それぞれの施設の特長を活かした利用方法を検討していく。
		(2)保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○		
		(3)乳幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○			

項目		内 容					
開 か れ た 保 育 園 づ く り	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。	○				・子育て支援センターを通し、園見学やばくばくくらぶにて保育者と親子が関わりを持つ場がある。 ・ぽけっとが保育園、保護者、利用者を繋ぐ重要な拠点となっている。 ・Instagramにおいて場の提供や周知が十分に出来ている。 ・健康診断の折には、園医に感染症対策などの相談にのって頂けている。
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	○				
		(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は、充実しているか。		○			
		(5) 医療機関や児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				
	情 報 の 発 信	(1) 保育園だより、クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				・情報発信に関してはSNSを見る方が多いので、園の発信をこれからも充実していけたらと感じる。 ・お便りは紙ベースとメールにて、献立表においては紙ベースのものと合わせてメールやInstagramでも発信しており、若い世代の保護者の皆様にも周知されている。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			